

# のぼり旗を別注で作成する場合の確認事項

## のぼりの生地をご指定ください

特にご希望が無い場合、ポンジという最も一般的なポリエステル生地となります。

生地種には少し厚めの丈夫なのぼりをご希望の場合はトロピカル、和風の綿生地の金巾、天竺木綿など様々な種類がございます。どの生地によれば良いかご不明な場合は、ご利用の場面に応じて最適な生地をご提案させていただきます。

## のぼりの大きさをご指定ください

特にご希望が無い場合、一般的な大きさは横幅 600mm、高さ 1800mm です。

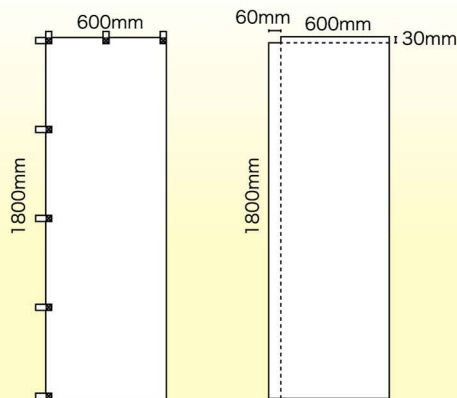
## チチの位置、数をご指定ください

特にご希望が無い場合、上部に 3 か所、左部に 5 か所となります。

棒袋加工で作成することも可能です。  
その場合、棒袋のサイズをご指定ください。  
特にご指定が無い場合、上部 30mm、左部 60mm となります。

※設置用の器具が通るサイズをご指定ください。  
器具の (直径 × 3.14 ÷ 2) + 10 ~ 20mm 程度が目安となります。

例) 直径 25mm の棒を通す場合、 $25 \times 3.14 \div 2 = 39.25\text{mm}$   
これに 20mm を足して約 60mm がおすすめの棒袋サイズとなります。



## 生地の端の処理方法をご指定ください

特にご希望が無い場合、ヒートカットになります。

ヒートカットは、高熱の刃でポリエステルを溶かしながら焼き切る方法です。  
ヒートカットで切断された断面は繊維が溶け固まっていますのでほつれにくくなっています。  
上辺、下辺、右辺、左辺のそれぞれに、ほつれ防止のための縫製加工を施すことができます。  
のぼりの端部分をよりほつれにくく補強するための縫製加工を「三巻 (みつまき)」と呼びます。  
生地が三重に重なるように巻き込み、縫いつけます。

三巻加工をする辺を示す業界用語は以下の通りです。

全ての辺に三巻加工を施す場合 → 四方三巻 (しほうみつまき)  
チチの付いていない長辺と短辺に三巻加工を施す場合 → L字三巻 (えるじみつまき)  
上下の短辺に三巻加工を施す場合 → 上下三巻 (じょうげみつまき)  
下部の短辺のみに三巻加工を施す場合 → 下辺三巻 (かへんみつまき) / 下部三巻 (かぶみつまき)

## 作成するデザイン(使用する色数)をご指定ください

色数は製造方法にも関わりますので、予め必ずご決定ください。

※デザインの色数と作成枚数と製造方法は密接な関係にあり、一概には決まっておりません。

上記のそれぞれの情報を頂いたうえで、  
総合的に判断して最適なお提案をさせていただきます。